

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○魅力的な農村地域の整備
主な取組	農村集落基盤再編・整備事業		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・ 郊外及び農山村については、良好な自然環境、営農環境等と調和のとれた集落環境の保全など魅力的な田園農住地域の整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
農村集落基盤・再編整備事業では、集落周辺の地域における農業生産性の向上を図るため、農業生産基盤の整備と、その機能の発揮に不可欠な集落基盤の整備を一体的に実施する。	県,市町村	農業生産の基盤と農村生活環境の総合的な整備		
		整備地区数(内訳)		
		1地区	2地区(新規1地区、継続1地区、累計2地区)	4地区(新規2地区、継続2地区、累計4地区)
担当部課【連絡先】	農林水産部農地農村整備課		【 098-866-2285 】	関連URL
				-

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名		農村集落基盤再編・整備事業					
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額				
一括交付金 (ハード)	補助	62, 323	129, 787				
令和6年度活動内容							
真壁西地区（糸満市）ほか 1 地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対し補助した。							

予算事業名		農村集落基盤再編・整備事業					
R7年度							
主な財源	実施方法	当初予算額					
一括交付金 (ハード)	補助	123, 596					
令和7年度活動計画							
真壁西地区（糸満市）ほか 1 地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対し補助する。							

活動指標名	整備地区数（内訳）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		真壁西地区（糸満市）ほか 1 地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対し補助した。
	1地区	1地区	2地区	4 地区（新規 2 地区、継続 2 地区、累計 4 地区）	50. 0%	大幅遅れ	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値4地区に対し2地区の整備に留まったことから、「大幅な遅れ」と判定した。その要因としては、新規地区採択に係る計画精度の低さにより採択に遅れが生じたことが考えられる。しかしながら真壁西地区（糸満市）ほか1地区において、農業生産基盤とともに農村生活環境が整備されたことにより、農業・農村のもつ多面的機能が発揮され、農業生産基盤と農村生活環境の改善・向上につながった。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和6年度 of 取組改善案	反映状況
○事業を実施する上で課題となったものがあつた場合は事業執行担当者だけでなく、ヒヤリング等を実施して事業計画担当者とも共有し、次期採択予定地区へフィードバックする。	○事業を実施する上で課題となったものがあつた場合は事業執行担当者だけでなく、ヒヤリング等を実施して事業計画担当者とも共有し、次期採択予定地区へフィードバックする。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	事業を実施する上での課題になったこと等が新規地区採択の事業計画担当者へ共有されておらず、地区採択の遅れにつながっている。	② 連携の強化・改善	執行・計画担当者を含む組織全体で適切に情報共有し、次期採択予定地区へ確実にフィードバックする。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○魅力的な農村地域の整備
主な取組	ふるさと農村活性化基金事業		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・ 郊外及び農山村については、良好な自然環境、営農環境等と調和のとれた集落環境の保全など魅力的な田園農住地域の整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
農山村および離島地域等における、地域住民ぐるみでの農村環境の保全管理活動や地域イベント等を支援し、農山漁村の持つ魅力について理解を深めることにより、地域リーダーの活動支援や人材育成等を推進する。	県,市町村	農村環境の保全管理活動や地域イベント等への支援		
		ふるさと農村活性化基金事業支援地区数(内訳)		
		15地区	16地区(新規1地区、継続15地区、累計16地区)	17地区(新規1地区、継続16地区、累計17地区)
担当部課【連絡先】	農林水産部村づくり計画課【 098-866-2263 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/nogyo/1010441/1010448/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名	ふるさと農村活性化基金事業				予算事業名	ふるさと農村活性化基金事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
県単等	委託	17,681	16,839		県単等	委託	20,000		
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画				
農村環境の保全管理活動または地域イベント等の農山漁村の持つ魅力を深める活動等を支援し、地域活動を推進する人材の育成を推進した。					農村環境の保全管理活動または地域イベント等の農山漁村の持つ魅力を深める活動等を支援し、地域活動を推進する人材の育成を推進する。				
活動指標名	ふるさと農村活性化基金事業支援地区数（内訳）		R6年度			進捗状況	活動概要		
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		令和6年度は当初16地区を採択後、1地区が地域リーダーの転出に伴う事業実施不能となり、15地区において地域ぐるみの農村環境保全管理活動や地域イベント等を支援し、地域活動を推進する人材の育成を図った。		
	15地区	15地区	15地区	17地区（新規1地区、継続16地区、累計17地区）	88.2%	概ね順調			

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
活動指標であるふるさと農村活性化基金事業支援地区について、令和6年度目標値は17地区としていたところ、活動を中止した地区の発生等により実績は15地区であったことから、「概ね順調」と判定した。具体的に支援した地区においては、農村環境の保安全管理活動や地域イベントに多くの若者や子ども達が参加し、地域間の交流や世代間の交流が図られており、将来の地域リーダー育成に貢献した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○ 運用基準に定める様式の見直しや記載要領の充実化等、実施地区の事務手続きに対する負担感の軽減に努める。	○ 運用基準に基づき、対象経費の運用指針としてガイドラインを定め、「対象経費」及び「対象としない活動及び経費」に関し、その解釈と具体例を示したことで、事務手続きにおける負担の軽減に努めた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	事業実施市町村においては、高齢化や人口減少に伴う担い手不足が事業継続の課題となっている。	③ 他地域等事例を参考とした改善	担い手となる地域リーダー育成のため、実績発表会や意見交換会を開催する。また、課題解決に向けた情報共有や事業活用の好事例を提供することで、近隣地域への横展開を図り、多様な人材の参画につなげる。